アメニティデザイン企業

DAIKEN

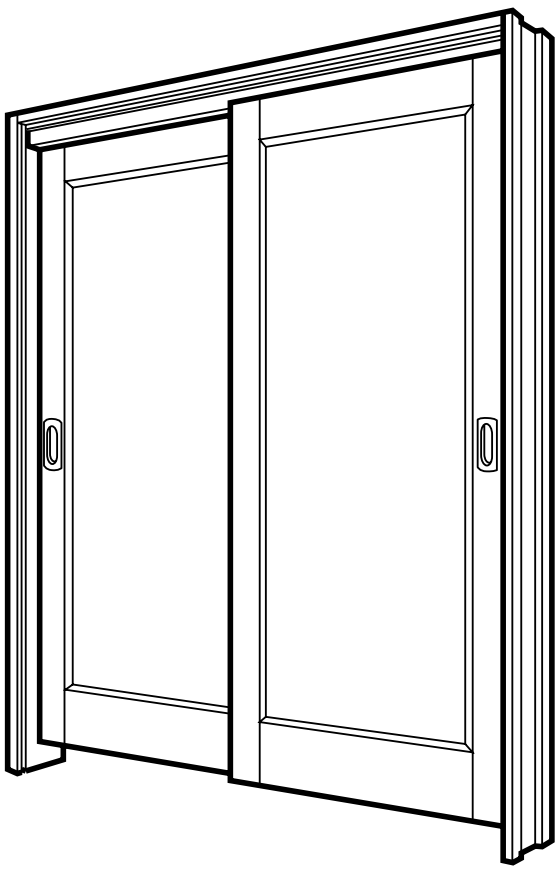
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケンリビングドアRⅢシリーズ

吊　戸

〈見切枠・固定枠154/169〉



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

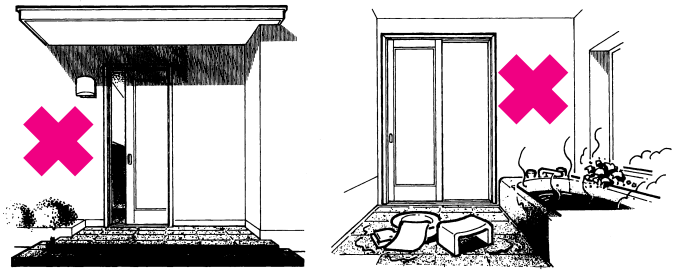
R3-TU-090301

必ずお守りいただきたいこと

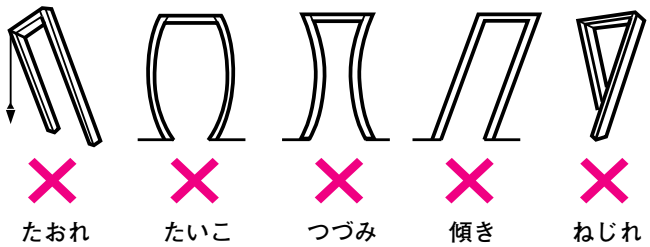
⚠施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

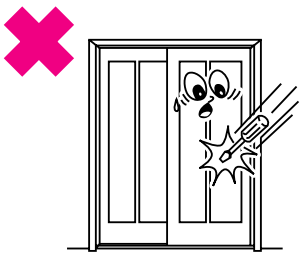
●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
他の用途へのご使用はおやめください。



●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。



●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。



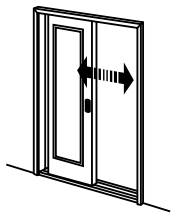
●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

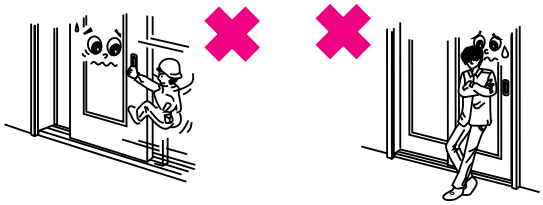
⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

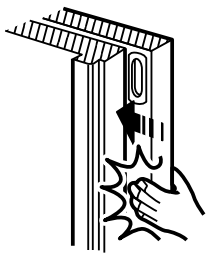
●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。



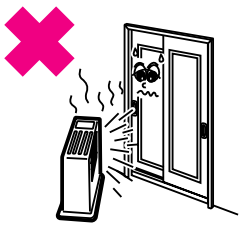
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



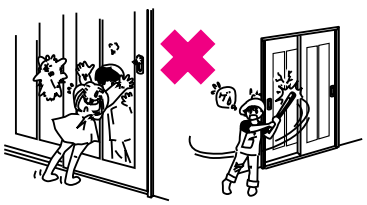
●扉と枠の間や、扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

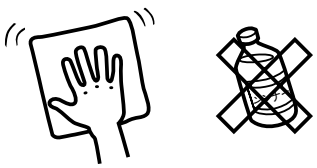


●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



お　手　入　れ　の　方　法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

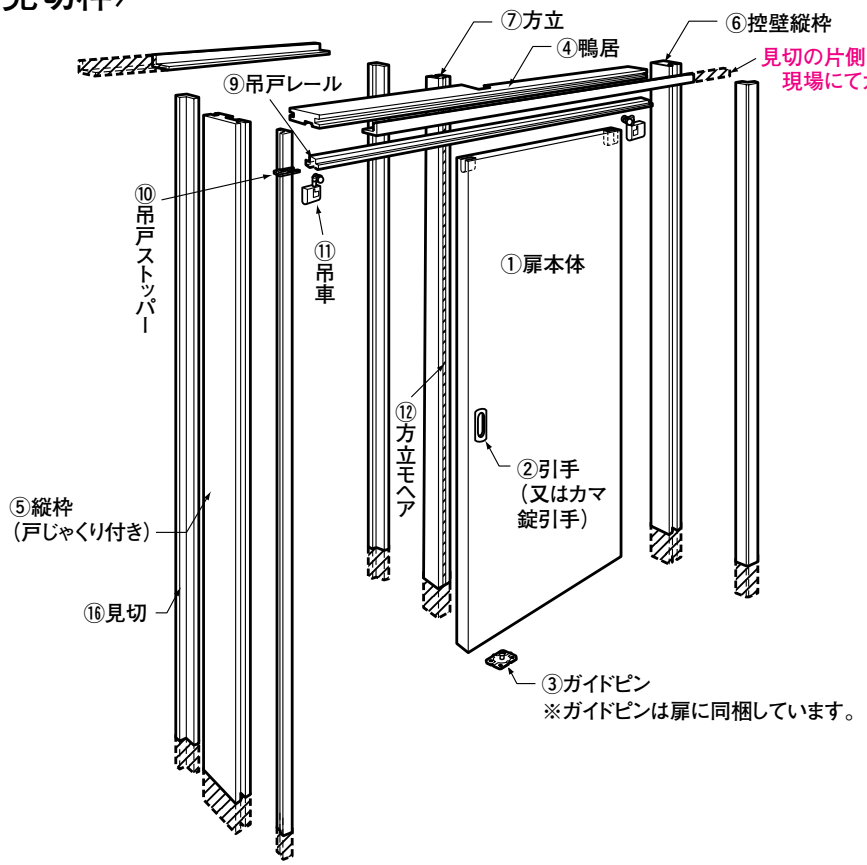


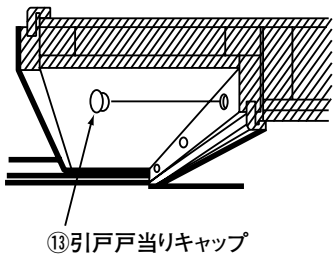
’09. 03. 01

全 体 図

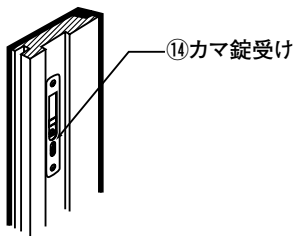
※図は片引の例です。

〈見切枠〉

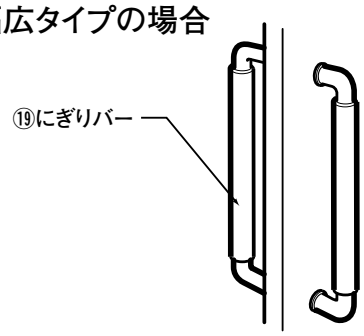




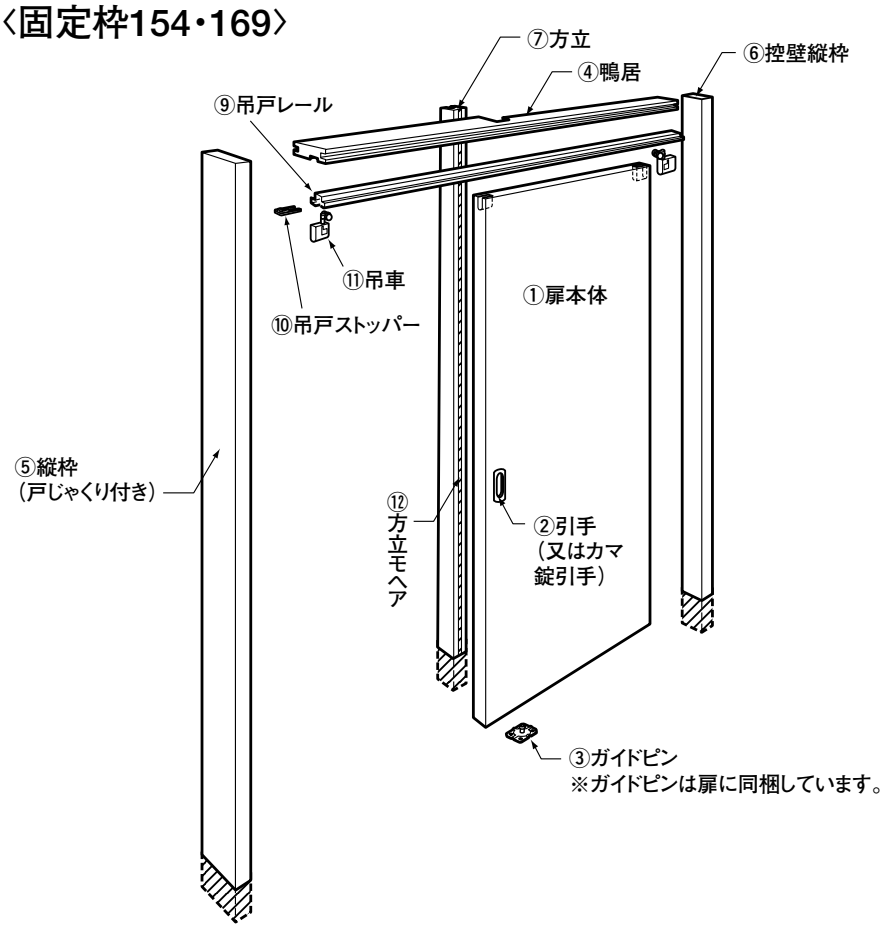
カマ錠タイプの場合



幅広タイプの場合



〈固定枠154・169〉



’09. 03. 01

部材・部品表　施工前に必ず部品を確認してください。

	部品名称		数量	備考
扉セット	①	扉本体	片引の場合　1 引違の場合　2	
	③	ガイドピン	扉1枚につき　1	取付けビス――ガイドピン1つにつき4本（φ3.1×20）

枠セット	④	鴨居		1	プレカット済み
	⑤	縦枠		片引の場合　1 引違の場合　2	
	⑥	控壁縦枠		片引の場合のみ　1	
	⑦	方立		片引の場合のみ　1	
	⑧	金具セット		片引 / 引違	枠組立ビス φ4.2×50 → 枠調整ビス φ5.3×55 → ソフトクッション φ8×2 →
			枠組立ビス	6 / 4	
			枠調整ビス	11 / 11	
			ソフトクッション	0 / 6	
	⑨	吊戸レール		片引の場合　1 引違の場合　2	取付けビス――6本／レール1本につき（φ3.5×50）
	⑩	吊戸ストッパー		片引の場合　1 引違の場合　2	
	⑪	吊車		扉1枚につき　2	
	⑫	方立モヘア		方立1本につき　1	方立に取付済
	⑬	引戸戸当りキャップ		8	
	⑭	カマ錠受け（片引カマ錠タイプの場合）		1	カマ錠受け――1個（縦枠に取付済）
	⑮	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。

	部品名称			数量	備考
見切セット	⑯	見切	縦用	4	壁厚に合わせて5サイズの中から選んでください
			横用	2	※固定枠154/169の場合は必要なし

	部品名称		数量	備考
カマ錠引手セット（間仕切・表示）	⑰	カマ錠引手	1組	
	⑱	取付ビス	2本	

	部品名称		数量	備考
にぎりバーセット	⑲	にぎりバー	2本	
	⑳	専用金具セット	1	（ビス、ワッシャー、タイコ　各2個入）

	部品名称		数量	備考
引手セット	②	引手	1組	

必要梱包

見切枠　⇨ 扉セット＋枠セット＋見切セット＋引手セット

固定枠154/169　⇨ 扉セット＋枠セット＋引手セット

※カマ錠タイプの場合はカマ錠引手セットが別途必要です。

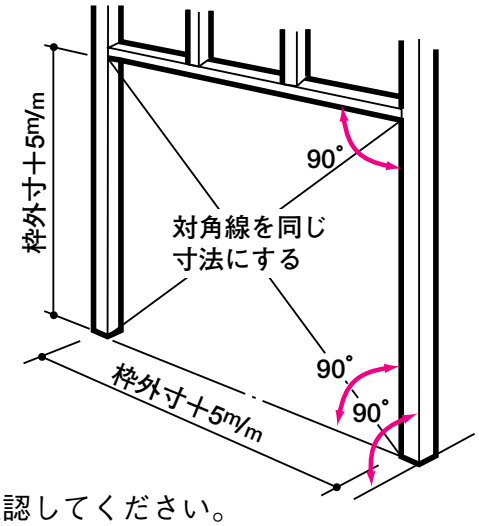
※幅広タイプの場合はにぎりバーセットが別途必要です。

’09. 03. 01

準 備

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

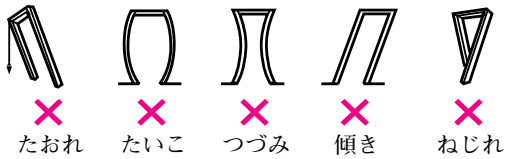
	6尺間口
梁の断面寸法	105×180mm以上



◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。

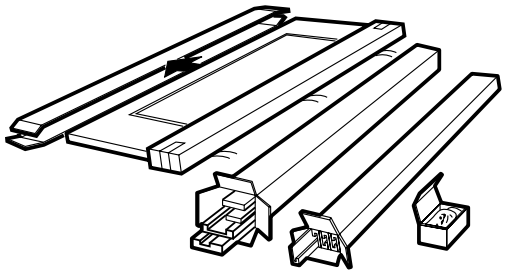
⚠注意 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。



⚠注意 図の様なことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

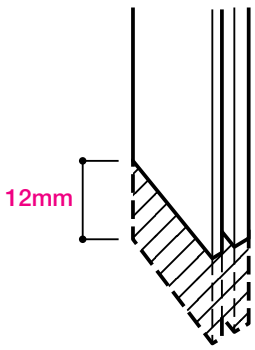
梱包を開けて部品を確認してください。



施工の前に

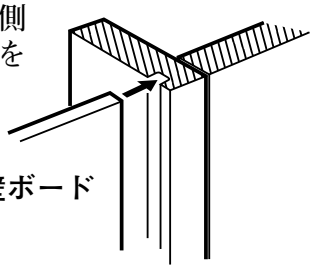
◆枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。

◆枠を床下に埋めこむ場合は枠下端を床厚さに合わせてカットしてください。
詳細は寸法図を確認してください。

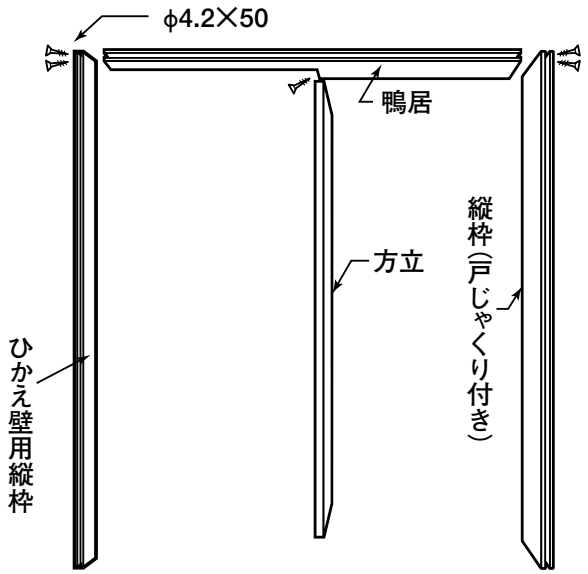


固定枠154/169の場合

必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



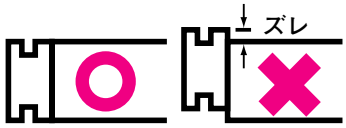
三方枠を組んでください。



組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。

見切枠の場合

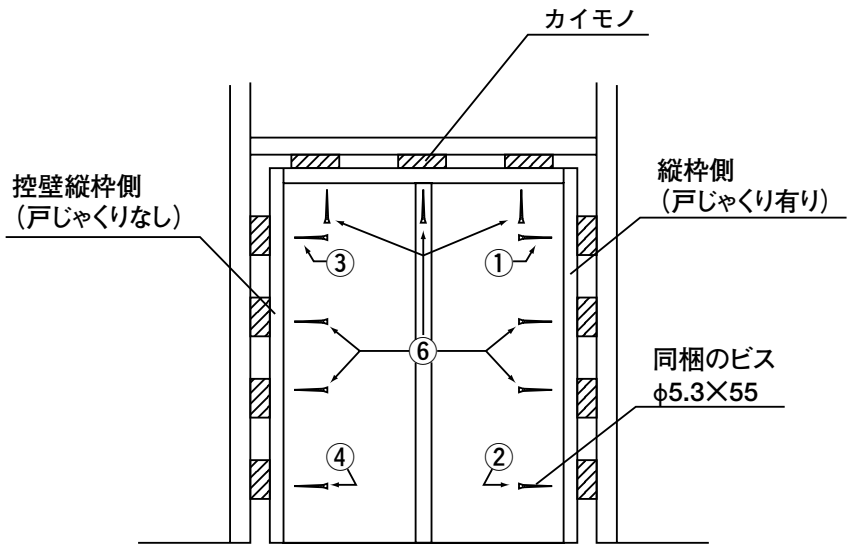
縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。



’09. 03. 01

施工手順

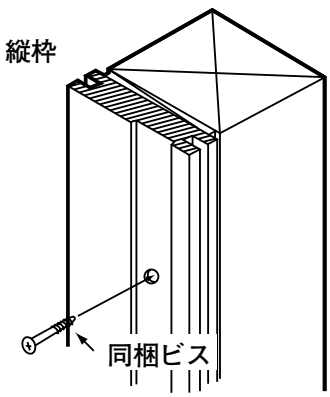
1 開口部への枠の取付



①枠を開口部にはめこんで縦枠側（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

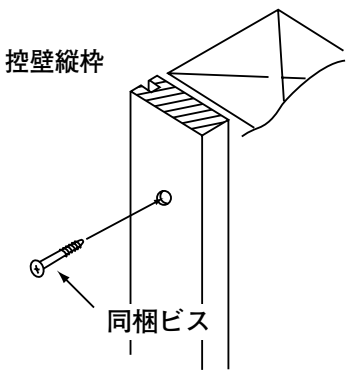
②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。



必ず戸じゃくりのリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。

⇩

③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。



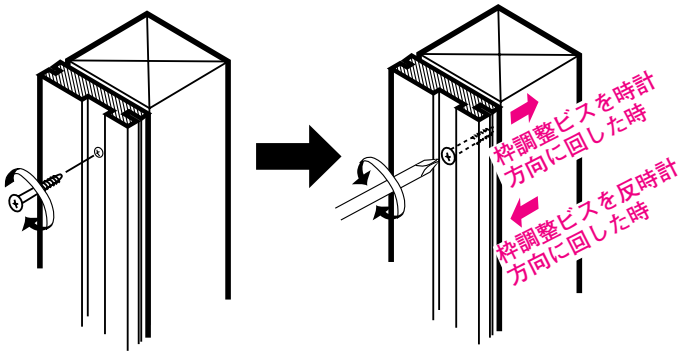
同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

⇩

④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

⇩

⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。



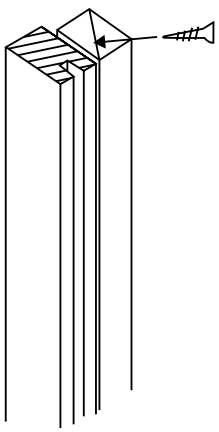
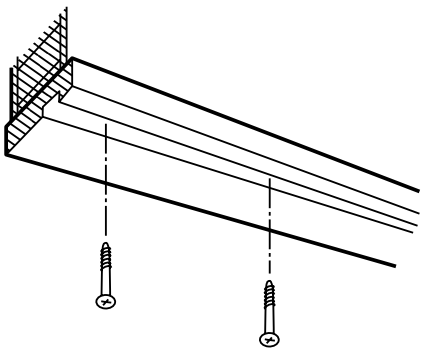
①まず枠調整ビスで枠を固定します。

②枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⇩

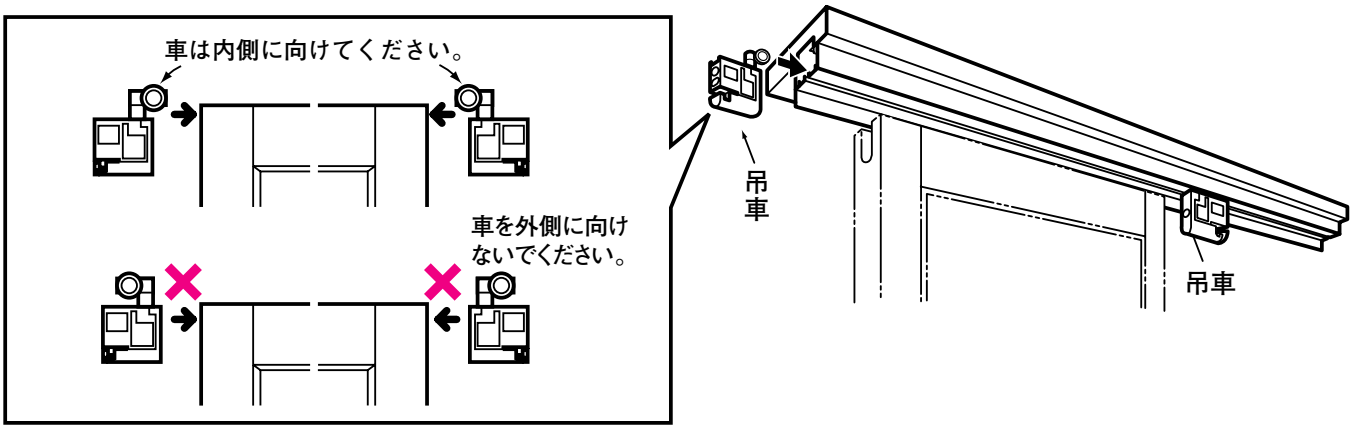
⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

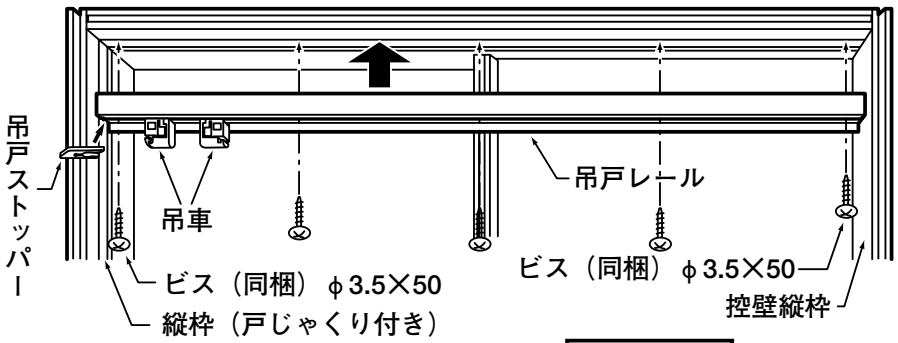
方　　立	上　　枠
	
裏面からビスで固定してください。（現場手配）	同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

2 レールの取付

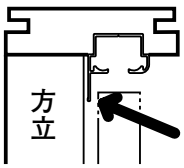
レールに吊戸ストッパーをはめこみ、吊車をレールの中に入れてから同梱のビスで上枠に固定してください。



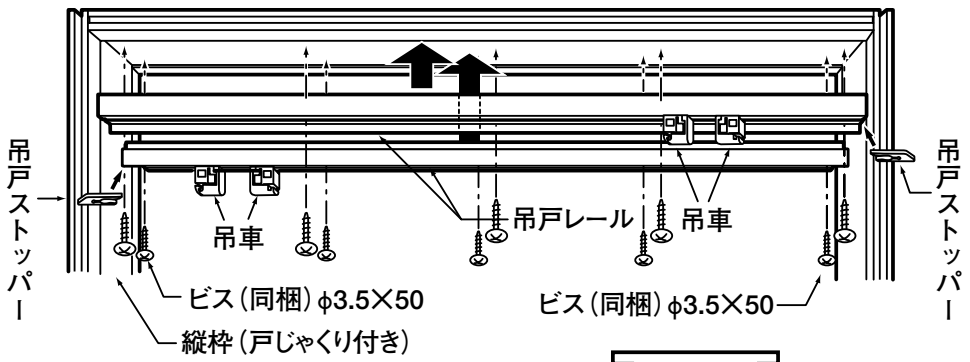
片引の場合



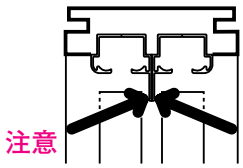
※吊戸ストッパーは扉の閉まる方向の端
（＝縦枠に戸じゃくりのある方）に取り付けてください。
※レールの明りもれ防止部が方立側に向くように取り付けてください。



引違の場合



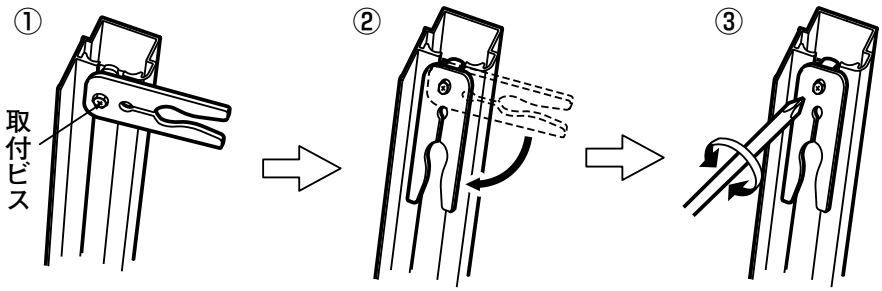
※ストッパーは扉の閉まる方向の端
（＝縦枠に戸じゃくりのある方）に取り付けてください。
※レールの明りもれ防止部が互いに内側に向くように取り付けてください。



吊車ストッパーの取付

⚠ 注意

レールは、縦枠側にすきまができないように取り付けてください。



① 取付ビスをゆるめてレールと垂直に取りつけてください。

② レールと平行に回転してください。

③ 取付ビスを締めて固定してください。

’09. 03. 01

3 引手の取付

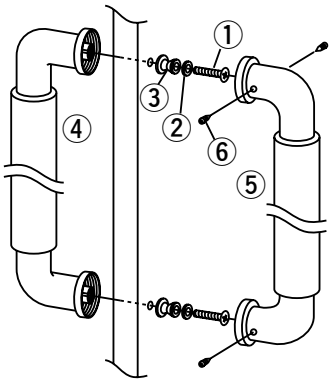
引手が別梱及びカマ錠タイプの場合、取付方法は引手セット（カマ錠引手セット）に同梱の取付説明書をご覧ください。

幅広タイプの場合

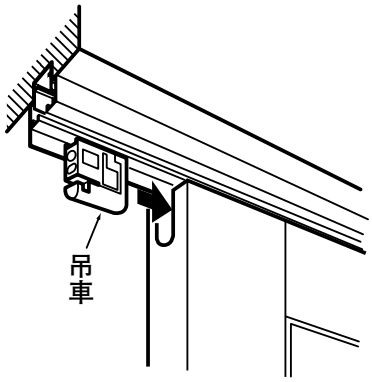
扉ににぎりバーを取り付けてください。

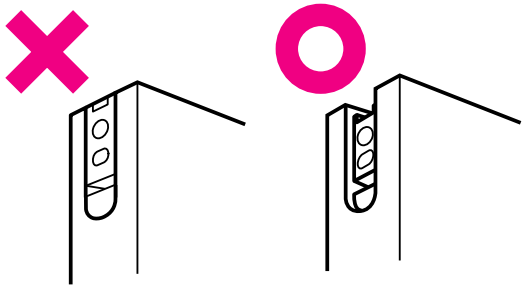
1）取付ビス①をスプリングワッシャー②及び、タイコ③に通して裏側のにぎりバー④を締めてください。

2）表側のにぎりバー⑤をタイコ③にかぶせ横ネジ⑥で表側のにぎりバーを固定してください。



4 扉のはめこみ





⚠注意

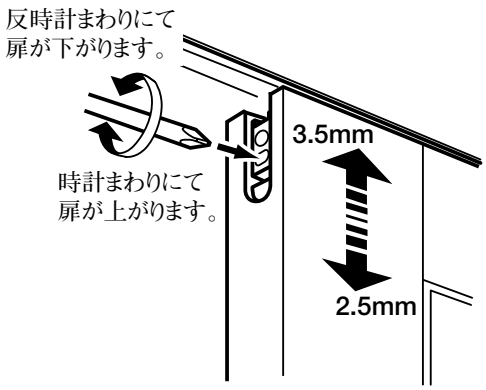
必ず吊車を完全にはめこんでください。
（扉木口より奥に入ります。）

5 吊車の調整

吊車の調整ビスで扉と枠のスキマを調整してください。

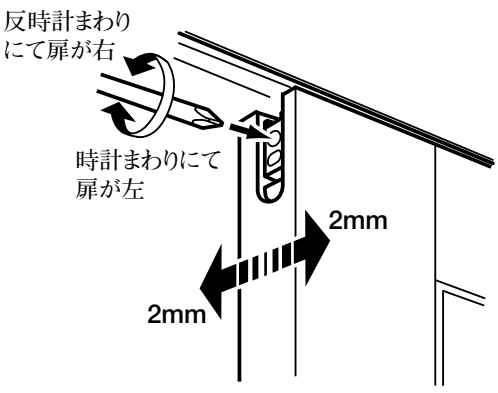
上下

調整範囲 6mm



前後

±2mm

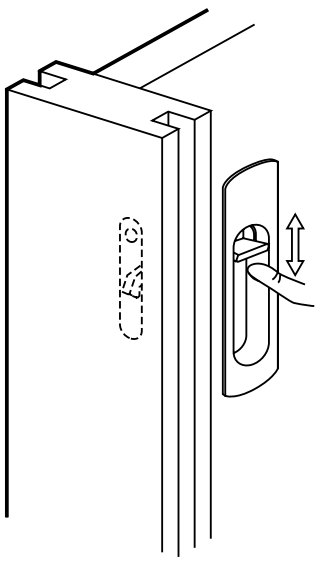


⚠注意 吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し手直ししてください。

6 カマ錠の施錠確認

カマ錠タイプの場合

施錠できることを確認してください。



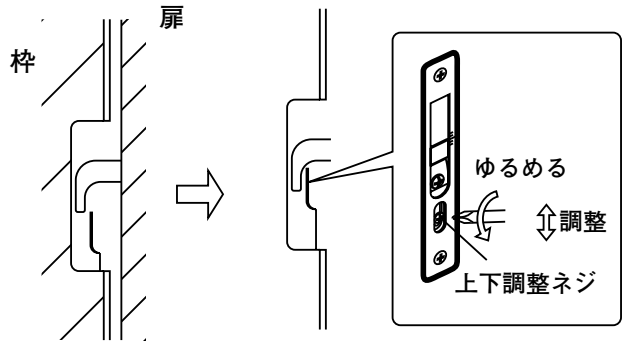
’09. 03. 01

7 カマ錠受座の調整

カマ錠タイプの場合　カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。

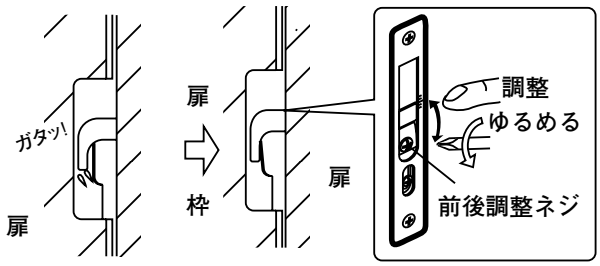
上下調整

①上下調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、扉が開かない事を確認してください。
④まだ扉が開く場合は①～③を繰り返し調整してください。



ガタつき調整

①前後調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、ガタつきのない事を確認してください。
④まだガタつく場合は①～③を繰り返して調整してください。

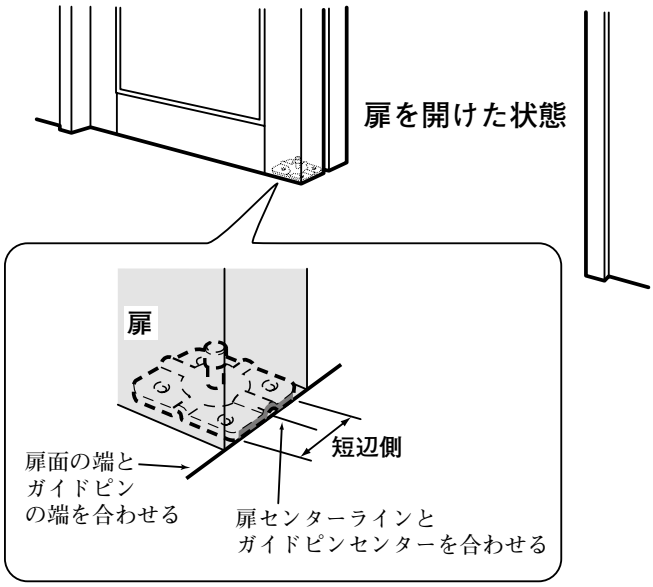


8 ガイドピンの取付

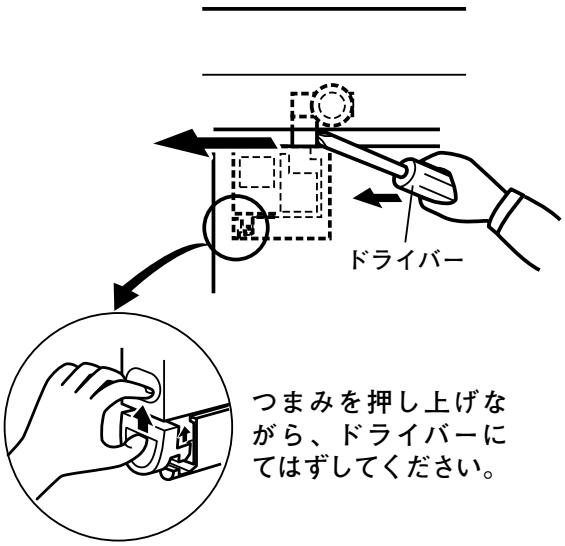
⚠ 注意　必ず扉の上下調整（7）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

①　ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。

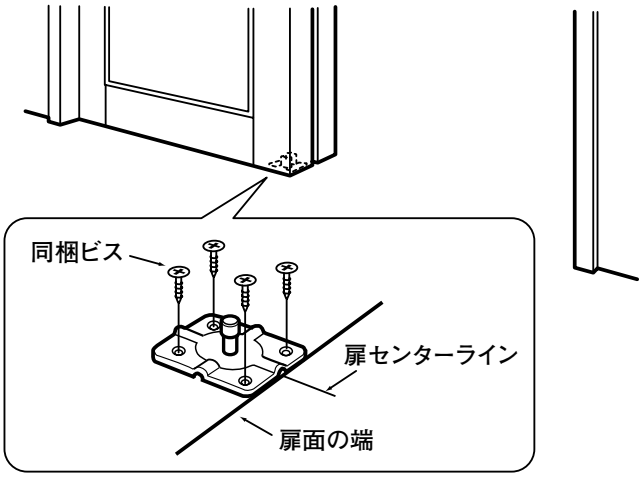


②　扉両側の吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

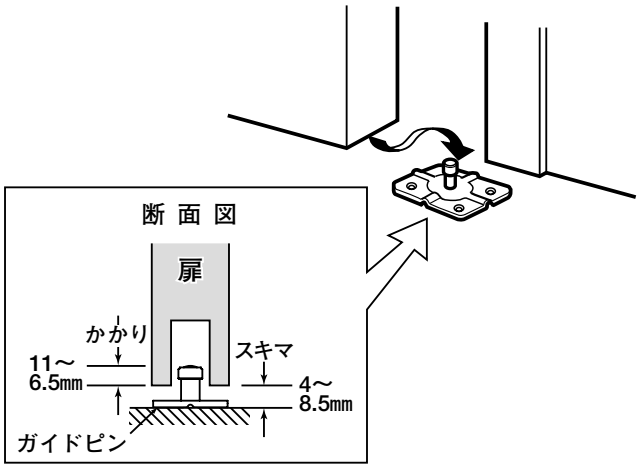


’09. 03. 01

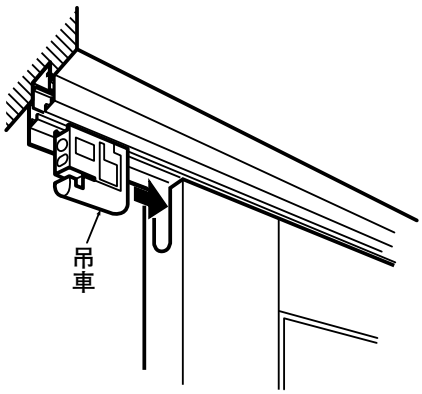
③　ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。



④　扉をガイドピンにはめこんでください。



⑤　再び吊車をはめこむ。

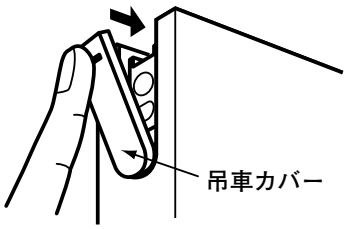


⑥　扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

⚠ 扉下木口と床面とのスキマは 4 mm以上あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

⑦　吊車カバーを取付けてください。



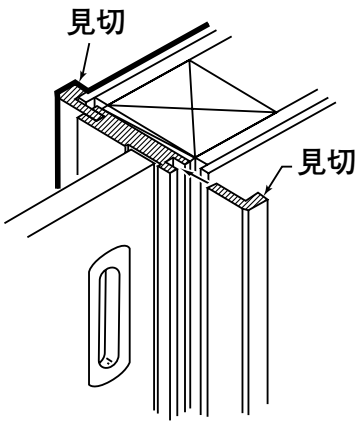
9　見切の取付

見切枠の場合

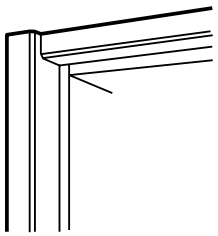
壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

⚠ 見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

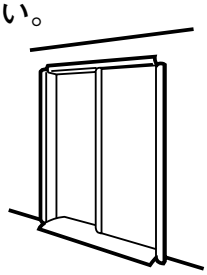


縦勝ちの納めになっています。



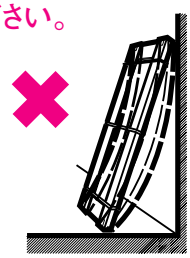
10　養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。



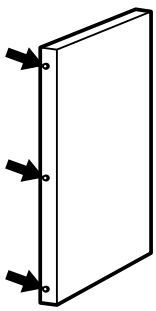
※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

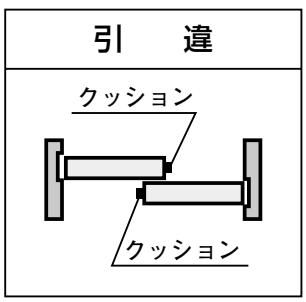
※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



クッション材の貼付　引違のみ

扉の横木口の上・中・下の三箇所に貼り付け

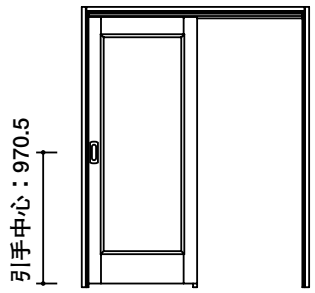




’09. 03. 01

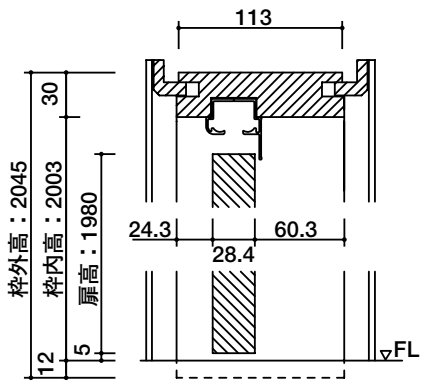
見切枠タイプ寸法図

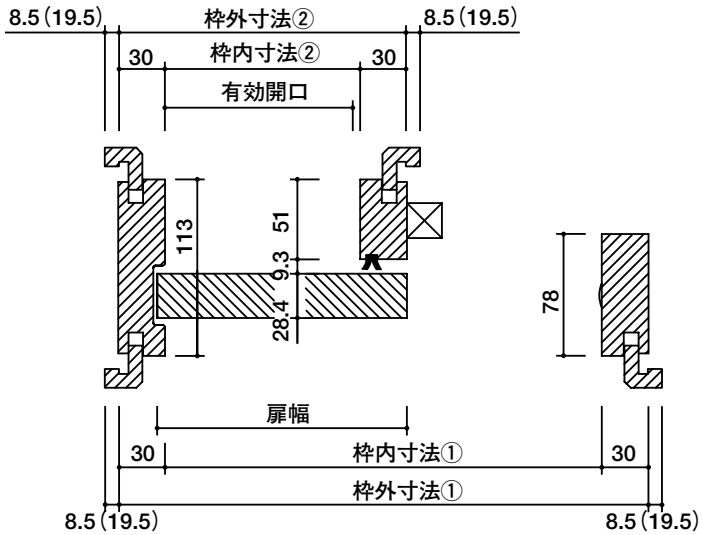
吊戸片引寸法図



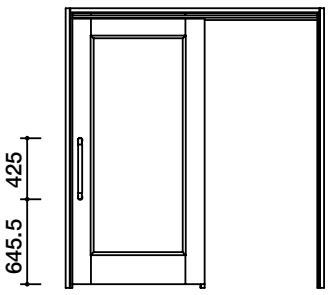
枠外寸法①	1645	1450	1195
枠外寸法②	835	737.5	610
枠内寸法①	1585	1390	1135
枠内寸法②	775	677.5	550
扉　幅	810	712.5	585
有効開口	772.5	675	547.5

図は見切B～E使用の場合
（　）は見切Aの場合

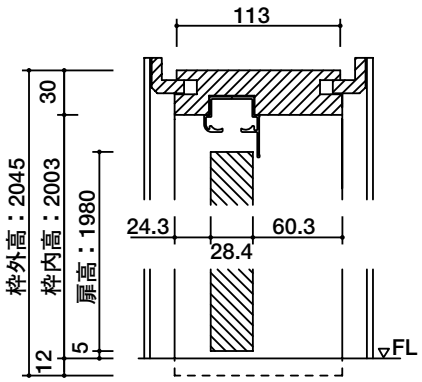


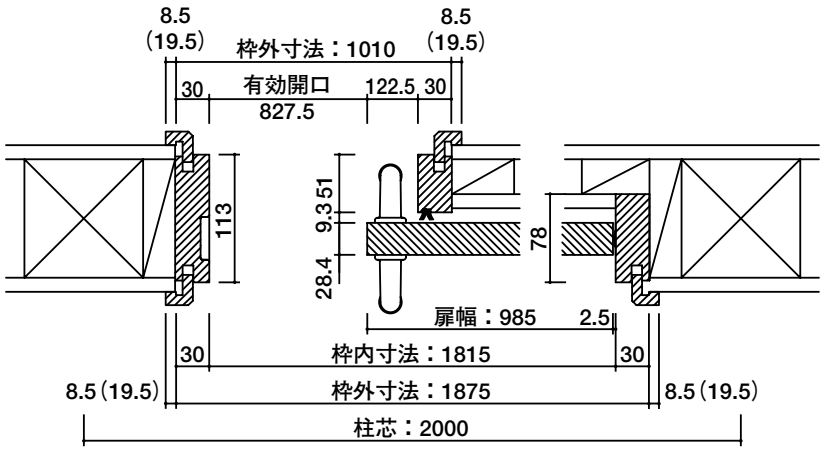


吊戸片引（幅広タイプ）寸法図



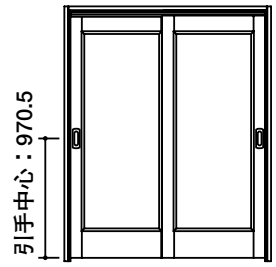
図は見切B～E使用の場合
（　）は見切Aの場合



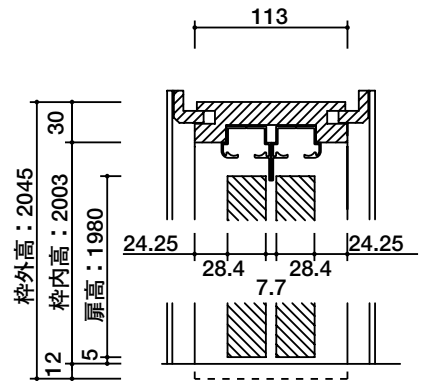


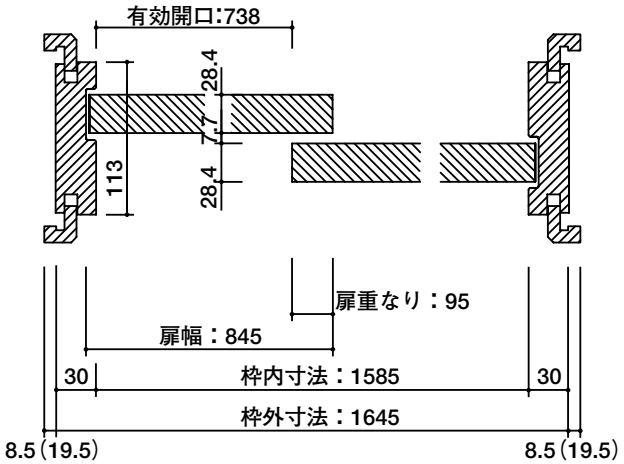
’09. 03. 01

吊戸引違寸法図

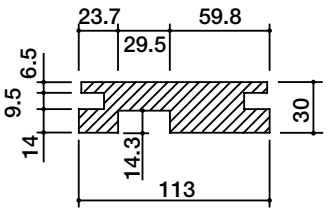
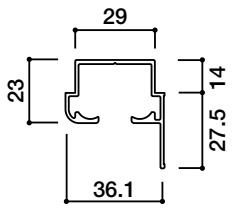
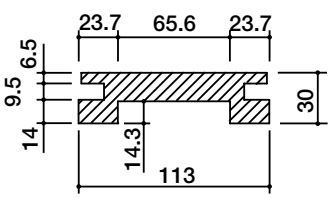


図は見切B～E使用の場合
（　）は見切Aの場合





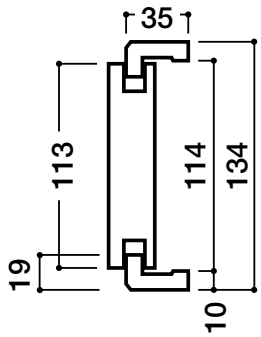
部材断面図

	鴨　　居	吊戸レール
片引		
引違		

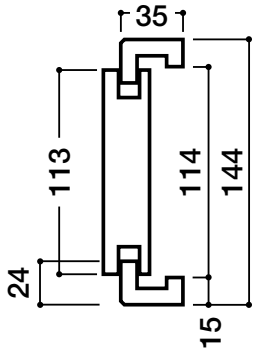
見切枠壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

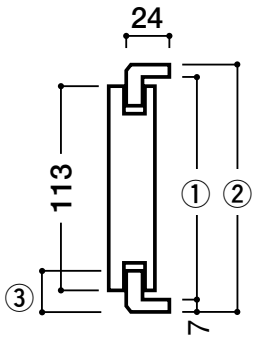


縦　用

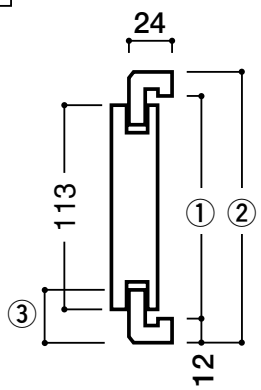


見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用



縦　用

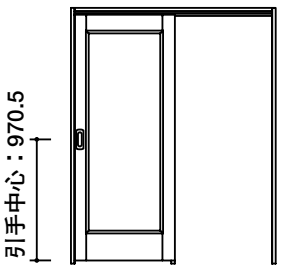


見切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

固定枠154/169タイプ

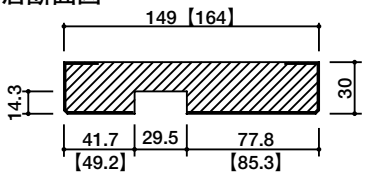
吊戸片引寸法図

【　】は固定枠169タイプの場合

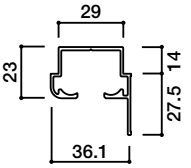


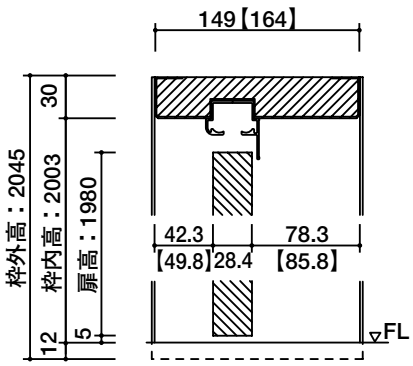
枠外寸法①	1645	1450	1195
枠外寸法②	835	737.5	610
枠内寸法①	1585	1390	1135
枠内寸法②	775	677.5	550
扉　幅	810	712.5	585
有効開口	772.5	675	547.5

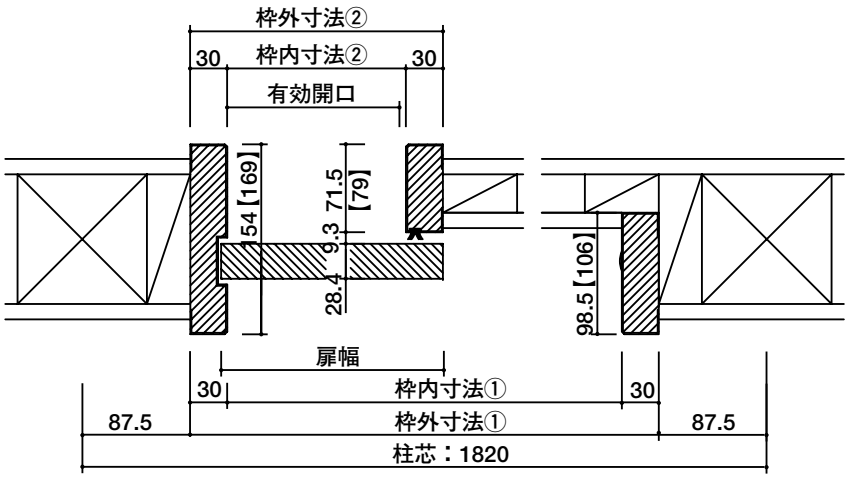
鴨居断面図



吊戸レール断面図

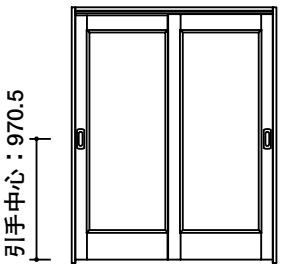




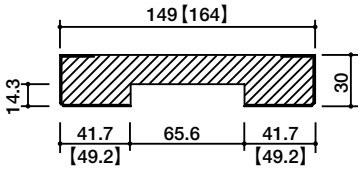


吊戸引違寸法図

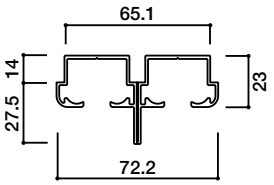
【　】は固定枠169タイプの場合

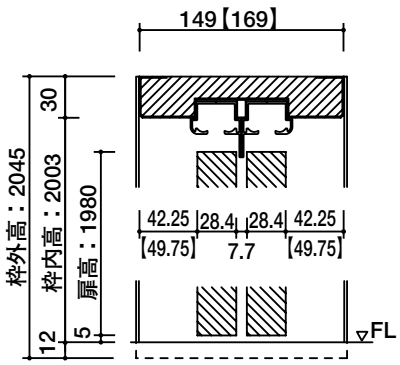


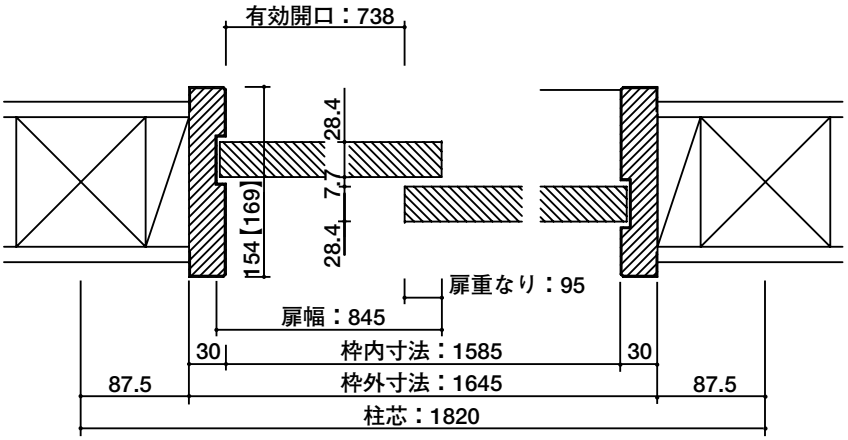
鴨居断面図



吊戸レール断面図





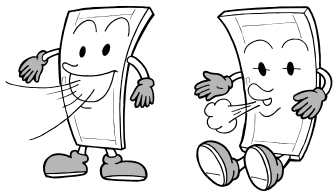


’09. 03. 01

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合

②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合

③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合

④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合

⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など

⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合

⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 06-6452-6000へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社

06-6452-6032

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	☎ 011-856-2202	松本営業所	☎ 0263-40-0370	名古屋営業所	☎ 052-205-5811	山口事務所	☎ 083-974-0303
札幌営業所	☎ 011-856-2202	北関東営業部	☎ 028-621-6431	三河事務所	☎ 0564-65-8681	広島特販営業所	☎ 082-505-2525
函館事務所	☎ 0138-47-7191	宇都宮営業所	☎ 028-621-6431	岐阜事務所	☎ 058-246-6752	岡山営業所	☎ 086-262-2271
札幌特販営業所	☎ 011-856-2202	宇都宮特販営業所	☎ 028-621-6431	名古屋特販営業所	☎ 052-205-5811	岡山特販営業所	☎ 086-262-2271
旭川営業所	☎ 0166-24-1377	埼玉営業所	☎ 048-669-0660	浜松営業所	☎ 053-458-5751	四国営業部	☎ 087-866-8500
帯広事務所	☎ 0155-25-8421	熊谷事務所	☎ 048-527-5601	三重営業所	☎ 059-226-7073	高松営業所	☎ 087-866-8500
東北営業部	☎ 022-243-6621	群馬営業所	☎ 027-364-9811	北陸営業部	☎ 076-262-3211	高知事務所	☎ 088-885-6202
盛岡営業所	☎ 019-636-1161	首都圏営業部	☎ 03-5386-5957	金沢営業所	☎ 076-262-3211	高松特販営業所	☎ 087-866-8500
秋田事務所	☎ 018-862-4441	東京営業所	☎ 03-5386-5957	富山事務所	☎ 076-429-7250	松山営業所	☎ 089-945-8569
盛岡特販営業所	☎ 019-636-1161	山梨事務所	☎ 055-275-7931	福井事務所	☎ 0776-26-8508	徳島営業所	☎ 088-622-6261
仙台営業所	☎ 022-243-6621	横浜営業所	☎ 045-983-2332	北陸特販営業所	☎ 076-262-3211	九州営業部	☎ 092-413-2345
山形事務所	☎ 023-632-2711	厚木事務所	☎ 046-222-1535	近畿営業部	☎ 06-6915-7002	福岡営業所	☎ 092-413-2345
仙台特販営業所	☎ 022-243-6621	多摩営業所	☎ 042-571-3434	大阪営業所	☎ 06-6915-7041	北九州事務所	☎ 093-522-1224
青森営業所	☎ 017-729-2201	水戸営業所	☎ 029-248-8511	和歌山事務所	☎ 073-473-8090	長崎事務所	☎ 0957-35-0161
[八戸事務所]	☎ 0178-70-7318	つくば事務所	☎ 029-849-2344	大阪特販営業所	☎ 06-6915-7041	大分事務所	☎ 097-533-8701
郡山営業所	☎ 024-946-7211	千葉営業所	☎ 043-287-8491	兵庫営業所	☎ 078-321-1822	福岡特販営業所	☎ 092-413-2345
信越営業部	☎ 026-222-6311	我孫子事務所	☎ 04-7183-4070	（姫路駐在）	☎ 0792-24-8860	熊本営業所	☎ 096-372-5211
新潟営業所	☎ 025-285-5887	静岡営業所	☎ 054-288-3881	京都営業所	☎ 075-341-8151	南九州特販営業所	☎ 096-372-5211
新潟特販営業所	☎ 025-285-5887	首都圏住宅営業部	☎ 03-3249-4850	沖縄営業所	☎ 098-879-4916	鹿児島営業所	☎ 099-254-8300
長野営業所	☎ 026-222-6311	首都圏集合住宅営業部	☎ 03-5386-5974	中国営業部	☎ 082-505-2525	宮崎事務所	☎ 0985-26-5908
長野特販営業所	☎ 026-222-6311	首都圏リモデル営業部	☎ 03-3249-4802	広島営業所	☎ 082-505-2525	西部住宅営業部	☎ 06-6452-6231
長岡営業所	☎ 0258-33-5734	中京営業部	☎ 052-205-5811	福山事務所	☎ 084-924-7196		

2008.08 現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

’09. 03. 01